

一般社団法人日本肝胆膵外科学会  
平成 27 年度(2015 年)事業報告書

1: 肝胆膵の外科に関する学術集会の開催

第 27 回(2015 年度)日本肝胆膵外科学会・学術集会を開催した。

会長: 金子弘真 先生(東邦大学医学部外科学講座一般・消化器外科 教授)

テーマ: Passion and Mission in HBP Surgery

会期: 平成 27 年(2015 年)6 月 11 日(木)~6 月 13 日(土)

会場: ホテルグランパシフィック LE DAIBA

1,454 題の演題が集まった。

2: 機関誌の発行

本学会英文機関誌 Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences (JHBPS)を発行し、Monthly に  
発刊し、冊子は評議員の先生方に送付した。

22 巻 4 号	2015 年 4 月	1,500 部発刊 (オンラインジャーナルも含む)
22 巻 5 号	2015 年 5 月	1,500 部発刊 (オンラインジャーナルも含む)
22 巻 6 号	2015 年 6 月	1,500 部発刊 (オンラインジャーナルも含む)
22 巻 7 号	2015 年 7 月	1,600 部発刊 (オンラインジャーナルも含む)
22 巻 8 号	2015 年 8 月	1,600 部発刊 (オンラインジャーナルも含む)
22 巻 9 号	2015 年 9 月	1,600 部発刊 (オンラインジャーナルも含む)
22 巻 10 号	2015 年 10 月	1,600 部発刊 (オンラインジャーナルも含む)
22 巻 11 号	2015 年 11 月	1,600 部発刊 (オンラインジャーナルも含む)
22 巻 12 号	2014 年 12 月	1,600 部発刊 (オンラインジャーナルも含む)
23 巻 1 号	2015 年 1 月	1,600 部発刊 (オンラインジャーナルも含む)
23 巻 2 号	2015 年 2 月	1,600 部発刊 (オンラインジャーナルも含む)
23 巻 3 号	2015 年 3 月	1,600 部発刊 (オンラインジャーナルも含む)

Impact Factor 2.994 (2014 年度の Impact Factor⇒2015 年 7 月に発表)

Gastroenterology & Hepatology 分野 76 誌中 29 位、Quality in Category Q2

Surgery 分野 198 誌中 35 位、Quality in Category Q1

(Impact Factor の推移)

2006 年度 1.182、2007 年度 1.658、2008 年度 1.914、2009 年度 1.601、2010 年度 1.963、  
2011 年度 2.099、2012 年度 2.148、2013 年度 2.313

3: 高度技能専門医認定に関する事業

平成 27 年(2015 年)6 月

高度技能専門医最終判定

74 名の申請中、50 名を認定とし、23 名が非認定、1 名が辞退の結果となった。

指導医資格認定小委員会

49 名の更新申請者、8 名の名誉指導医申請者、1 名の失効同意書提出者の計 58 名  
について審査した。49 名のうち、1 名の申請者において症例数が足らず更新が認め

られず、48名の指導医資格更新を認めた。

#### 修練施設認定小委員会

##### 新規申請

A施設申請 5施設のうち、A認定1施設、B認定1施設、非認定3施設となった。

B施設申請 25施設のうち、B認定9施設、非認定15施設、辞退1施設となった。

##### 更新申請

14施設（A施設4、B施設10）のうち、更新辞退2施設となった。

12施設のうち、死亡率が5%を超える2施設（B施設）に対し、Case reportの提出を依頼し、検討した。結果、該当の2施設は非認定としたため、結果、10施設を更新認定した。

（平成28年（2016年）3月末現在の高度技能専門医、高度技能指導医、修練施設数）

肝胆膵外科高度技能専門医…142名

肝胆膵外科高度技能指導医…646名

高度技能専門医修練施設 A…111施設

高度技能専門医修練施設 B…106施設

## 4：本学会運営と活動

### 1. 会員数

平成27年3月31日現在 3,688名

平成27年4月1日以降 平成28年3月31日まで

新入会 230名

退会 198名

本人申出 81名

逝去 3名

強制退会 99名

休会 9名

復会 5名

平成28年3月31日現在 3,720名

内訳 名誉理事長 2名

名誉会員 41名

特別会員 84名

評議員 1,431名

正会員 2,162名

### 2. 物故者（H27.4.1～H28.3.31に届出があったもの）50音順

信田重光 先生（特別会員）

鈴木 徹 先生（名誉会員）

塚田一博 先生（特別会員）

### 3. 正会員→評議員：60名

評議員→名誉会員・特別会員 5名

4. 平成 27 年（2015 年）6 月各賞授与と名誉会員・特別会員推戴  
=学会賞=

1 位 久保 正二 先生（大阪市立大学 大学院医学研究科肝胆膵外科学）  
Shoji Kubo

“Case series of 17 patients with cholangiocarcinoma among young adult  
workers of a printing company in Japan”

Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences Vol.21, Number.7, p479–488

2 位 中山 壽之 先生（日本大学 医学部消化器外科）

Hisashi Nakayama

“Subcutaneous drainage to prevent wound infection in liver resection:  
a randomized controlled trial”

Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences Vol.21, Number.7, p509–517

同受賞者 1 位の久保先生には、高田賞も授与した。

=理事長賞=

庄 雅之 先生 Masayuki Sho（奈良県立医科大学 消化器・総合外科）

“Importance of resectability status in neoadjuvant treatment for pancreatic  
cancer”

前田 晋平 先生 Shimpei Maeda（東北大学 肝胆膵外科）

“MS-based Proteomic Analysis of Formalin-Fixed Paraffin-Embedded  
Extrahepatic Cholangiocarcinoma”

波多野 悦朗 先生 Etsuro Hatano

（京都大学大学院医学研究科 肝胆膵・移植外科）

“Conversion to Complete Resection with mFOLFOX6 with Bevacizumab or  
Cetuximab Based on K-ras Status for Unresectable Colorectal Liver Metastasis  
(BECK study)”

=平成 27 年（2015 年） 名誉会員推戴者=

永井 秀雄先生

宮川 秀一先生

=平成 27 年（2015 年） 特別会員推戴者=

木下 壽文先生

高尾 尊身先生

松下 通明先生

=平成 27 年（2015 年） 海外名誉会員推戴者=

Sheung Tat Fan, MD

5. 平成 27 年（2015 年）6 月 12 日社員総会終了後の役員変更  
なし

## 6. 各種委員会等

本学会が目的とする事業を達成するため下記委員会において調査研究、機関誌の発刊、学術集会の開催、専門医制度の運営、関係機関に対する要望・協議、提言、その他について検討した。

- ・ 将来検討委員会（担当理事 山本雅一）
- ・ 財務委員会（担当理事 吉田雅博）
- ・ 編集委員会（Editor-in-Chief 高田忠敬）
- ・ 高度技能専門医制度委員会（担当理事 山本雅一）
- ・ 技術認定委員会（担当理事 國土典宏）
- ・ 修練施設認定委員会（担当理事 矢永勝彦）
- ・ 高度技能専門医資格認定委員会（担当理事 山上裕機）
- ・ 指導医資格認定委員会（担当理事 海野倫明）
- ・ Scientific Committee（担当理事 藤元治朗）
- ・ 規約委員会（担当理事 小菅智男）
- ・ 倫理委員会（担当理事 太田哲生）
- ・ 国際交流委員会（担当理事 佐野圭二）
- ・ 評議員選考委員会（担当理事 鈴木康之）
- ・ 保険診療委員会（担当理事 矢永勝彦）
- ・ 学会賞選考委員会（担当理事 杉山政則）
- ・ 利益相反委員会（担当理事 大段秀樹）
- ・ 安全管理委員会（担当理事 大坪毅人）
- ・ データベース委員会（担当理事 山本雅一）
- ・ 胆道癌登録委員会（担当理事 堀口明彦）
- ・ プロジェクト委員会（担当理事 山上裕機）
- ・ 国際胆道炎特別研究プロジェクト委員会（委員長 高田忠敬）
- ・ 合同プロジェクト委員会（担当理事 山上裕機）
  - 日韓合同プロジェクト小委員会（委員長 権 雅憲）
  - 日台合同プロジェクト小委員会（委員長 山本雅一）
- ・ 胆道癌診療ガイドライン委員会（担当理事 榎野正人）
- ・ 胆道癌取扱い規約委員会（担当理事 佐野圭二）
- ・ Japan Chapter(A-P HPBA/IHPBA)（担当理事 國土典宏）
- ・ 内視鏡外科関連委員会（委員長 金子弘真）
- ・ 小児肝胆膵外科関連委員会（担当理事 猪股裕紀洋）
- ・ 肝膵移植外科関連委員会（担当理事 高田泰次）
- ・ 理事選考委員会（担当理事 木村 理）
- ・ 30周年記念事業準備委員会（委員長 宮崎 勝）
- ・ 腹腔鏡手術における学会報告・論文発表に関する調査委員会（委員長 榎野正人）

## 7. その他

- a) 平成 27 年（2015 年）4 月 18 日理事会にて、千葉県がんセンターを本学会修練施設から取り消すことが決まった。また、消化器外科 2 名の医師について、本学会指導医資格を取り消すことを決定した。
- b) 平成 27 年（2015 年）6 月 12 日理事会にて、第 30 回本学会記念学術集会会長に本学会理事である遠藤 格先生が就任することが承認された。

- c) 平成 27 年 (2015 年) 6 月 12 日理事会にて、平成 28 年度 (2016 年度) より、6 月学術集会期間中に開催する社員総会開催前に、社員である評議員に、社員総会への案内状とは別に、4 月理事会で承認が得られた下記①～③の書類を送付することが決まった。
- ① 社員総会議案
  - ② 事業報告書
  - ③ 財務諸表
    - 1.貸借対照表
    - 2.正味財産増減計算書
    - 3.財産諸表に対する注記
    - 4.附属明細書
    - 5.財産目録
- d) 平成 27 年 (2015 年) 理事会において、3 年総計で死亡率 5%以上の施設 8 施設と、腹腔鏡手術緊急アンケート調査で死亡率が高かった 4 施設に **Case report** の提出を求め、学会として内容を確認した上で、必要に応じて注意喚起、助言、指導を行うことが決まった。
- e) 平成 27 年 (2015 年) 6 月 11 日定款施行細則第 4 号 (休会に関する規則)、および本学会事務局給与規程が施行された。
- f) 平成 27 年 (2015 年) 7 月 17 日 (木) 腹腔鏡手術における学会報告・論文発表に関する調査委員会が開催された。結果、同調査委員会の結論をもって、本学会理事長が日本外科学会・日本消化器外科学会・日本内視鏡外科学会の各理事長へ連絡し、上記 4 学会が集まって処分について検討を行うことが決まった。同委員会としては、1) 当事者と診療責任者には数年間 (停止期間について、学術集会は年 1 回なので最低でも 1 年以上は必要) の学会活動の停止、2) 抄録を提出してしまったその他の先生方には、厳重注意が妥当であろうとの結論になった。
- g) 平成 27 年 (2015 年) 9 月 18 日持ち回り理事会にて、保険適応外の腹腔鏡手術肝臓手術について **Registry** 制を導入することについて承認が得られた。なお、同制度は日本内視鏡外科学会および肝臓内視鏡外科研究会と協同で進める。
- h) 平成 27 年 (2015 年) 10 月 6 日持ち回り理事会にて、IHPBA/APHPBA と本学会との **Joint membership** 制度 (**Japan HPB passport membership**) を導入することについて承認された。11 月より、同 **membership** 参加登録を受け付け、約 130 名の会員が同制度に登録した。
- i) 日本外科学会 國土典宏理事長、日本消化器外科学会 森 正樹理事長、本学会 宮崎勝理事長 3 名の連名で、**KIFMEC** (神戸国際フロンティアメディカルセンター) における肝移植における一連の症例経過について、平成 27 年 (2015 年) 6 月に同センターに要望書を提出した。同年 9 月 24 日付けで、同センターより回答書を受け取った。平成 27 年 11 月 27 日理事会において、今後も同センター症例経過について注視していくことが決まった。
- j) 平成 28 年 (2016 年) 1 月 5 日持ち回り理事会にて、2017 年の日本肝胆膵外科学会の完全英語化 (国際化) 記念企画プロジェクトとして、歴史検証: "East

meets West 2017: Historical Perspective in HBP Surgery& IVR”を行うことが決まった。

- h) 平成 28 年（2016 年）2 月 8 日、本学会会員の皆様に、症例登録システムを用いた腹腔鏡下肝切除術の安全性に関する検討（前向き多施設共同研究）に、日本内視鏡外科学会、および肝臓内視鏡外科研究会と共同で行うことをご案内の上、本研究への協力をお願いした。
- i) 平成 28 年（2016 年）3 月 11 日持ち回り理事会にて、症例登録システムを用いた腹腔鏡下膵切除術の安全性に関する前向き観察多施設共同研究に、日本内視鏡外科学会、および膵臓内視鏡外科研究会と共同で行うことについて承認された。

## 5：開催理事会・社員総会について

＝理事会＝

日時：平成 27 年（2015 年）4 月 18 日（土）7：30～9：30

場所：名古屋国際会議場 1 号館 4 階「会議室 143」

日時：平成 27 年（2015 年）6 月 11 日（木）10：30～12：30

場所：ホテルグランパシフィック LE DAIBA 「パンセ」

日時：平成 27 年（2015 年）11 月 27 日（金）11：00～13：00

場所：マリンメッセ 2F／会議室 2

＝社員総会＝

日時：平成 27 年（2015 年）6 月 12 日（金）17：00～19：00

場所：ホテルグランパシフィック LE DAIBA 「パレロワイヤル AB」